伝える・育てる 言葉の未来
国立国語研究所
創立70周年・人間文化研究機構移管10周年

NINJAL
National Institute for Japanese Language and Linguistics

本シンポジウムの枠組み
シンポジウム「ビジネスと日本語の接点」

国立国語研究所 日本語教育研究領域 教授
石黒 圭（いしぐろ けい）

大学共同利用機関法人 人間文化研究機構
国立国語研究所
National Institute for Japanese Language and Linguistics

クラウドソーシングの普及

- オンライン上で、顔の見えない不特定多数の相手に、文書で業務を依頼する業務のアウトソーシング化＜クラウドソーシング＞が加速。
- 優秀な受注者を獲得するには、業務の条件を明確にし、丁寧な文体で書く必要がある。
- 受注者から質の高い成果物を得るには、受注者が業務内容を的確に理解できる、わかりやすい文書を作成する必要がある。

クラウドソーシングの言語研究

- 質の高い文書を書けるかどうかが、これからの発注者に求められる資質である。
- そうした発注者を育てるには、どのようなビジネス文書が書かれているか、言語面の実態を調査する必要がある。
- クラウドソーシングという、実際の業務で使われているなまの文書を分析すれば、ビジネス文書の実態が見える。

第1部　セッション①

セッション「ビジネス文書の分析と課題」

①「分析用データベースの設計と活用」

井上 雄太（国立国語研究所）

②「発注文書の表現の分析」

青木 優子（東京福祉大学）

③「Wide Learningを用いた発注文書の分析」

浅井 達哉（株式会社 富士通研究所）

柳瀬 隆史（株式会社 富士通研究所）

第1部　セッション②

④「発注文書に見られる語彙の問題」

佐野 彩子（一橋大学大学院修了生）

⑤「発注文書に見られる敬語の問題」

蒙 韞（国立国語研究所）

⑥「発注者と受注者の意図のずれ」

布施 悠子（国立国語研究所）

岩崎 拓也（国立国語研究所）

第2部　パネル・ディスカッション

- パネル・ディスカッション「"よいビジネス文書"とはなにか? ―伝達力が仕事を変える―」

司会　熊野 健志（富士通株式会社）

登壇者

アンドレイ・ベケシュ（リュブリャナ大学）

小田 淳（ロジ 代表）

穴井 宏和（株式会社 富士通研究所）

成田 修造（株式会社 クラウドワークス）

庵 功雄（一橋大学）

謝辞

- 国立国語研究所 共同研究プロジェクト「日本語学習者のコミュニケーションの多角的解明」
- 科研費 挑戦的研究 (萌芽) 17K18504「クラウドソーシングを用いたビジネス文書のわかりやすさの言語学的研究」
- 共催　一橋大学大学院 言語社会研究科
- 後援　(株)クラウドワークス
- 後援　(株)富士通研究所

書籍の紹介

- 石黒圭編（2020）

  ビジネス文書の

  応用言語学的研究

  ―クラウドソーシングを用いた

  ビジネス日本語の多角的分析―

  ひつじ書房

  定価7200円＋税　322頁